
幽靈退治

遙風 霸鶴渡

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幽靈退治

【ZPDF】

Z0699F

【作者名】

遙風 翱禡渡

【あらすじ】

俺は、自分の部屋に……望まれぬ同居人がいるらしい事に気付いた。

俺は最近、不味いことに気付いた。

どうやら俺の部屋には、望まれぬ同居人がいるらしい。

そういえば、1カ月前からおかしな事はあつたような気がする。

閉めたはずの鍵があいていたり、歯ブラシが女ものに代わっていたり……。

しかしあれだ、決定的なのは。

散歩から帰つて来ると、部屋のものが全部入れ代わっていた、という事件。

仕方なくこうして生活してるけど、いい加減やばいってのは、わかっている。

特に押し入れ、押し入れやばい。

何か妖気が出でやつてゐし、開けようとしてもビクともしない。

そろそろ引つ越したいけど、そんな金は無い。

「ひつひつ事で、塩買つてきた」

俺は押し入れの住人に聞こえるよつて、そう言つた。

しかし、押し入れからは物音一つしない。

手に汗握るとは、まさしくの事だ。

俺はにじじつにじじつと、押し入れの引き戸に手をかける。……。

「おひおああああああつー！」

キヤー！

押し入れの中に居たのは、恐ろしいぐらいにボサボサの長い髪の女。凄まじい叫び声をあげたのは、そいつだ。

心臓が止まる程恐怖したが、直ぐ様バシンと押し入れを閉めた。

アーティストとしての才能を発揮する機会を得たのです。

…。

縁っぽいパジャマの髪の長い女……。

俺は突っ掛けを履いて部屋を出た。カンカンカンと階段をおりて、陽当たりの良い、ボロアパートの101号室を指す。

「管理人さん、管理人さん！ あの部屋出る、助けて！」

ドンドンドンドン木製のドアを叩くと、ガチャガチャ鍵をあける音がして、管理人のおじさんが恐怖にひきつった顔を出す。

「あ、あんた。3ヶ月前に死んだ、引きこもつの……」

やつべつ俺、餓死したんだつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0699f/>

幽霊退治

2010年10月28日07時49分発行